

福知山A to Zシリーズ

新井厚子 的 A to Z



欧文で名前のスペルを説明するときに
「アメリカのA」、「東京のT」、「ローマのR」
「スペインのS」、「イタリアのI」、のように国
名や都市名を使って説明する。名前の文字
の中で世界一周の旅をしているみたいだ。

いつもと違う風景や、場所に身をおくことで見えてく
るものがある。そこから多くの表現がでてきた。ここ
では、その地名や作品タイトルをAからZまで26文字
で切り取って旅してみる。

いろいろなまちや村に暮らしてきた。気がつ
くと移り変わってゆく現場に引き寄せられて移
動してきたと思う。

90年代、バルセロナにはじめて行った頃、ま
だ灰色のビルが多く残り混沌とした空気があっ
た。そんな場所に惹かれて移り住んだ。前時代
の工場が並ぶ地区はアーティストのスタジオ
密集地になっていき、雑然とした中に何が起こ
るかわからないワクワクさせる空気があった。
工事が続くサグラダ・ファミリア教会では、礼拝
堂になる内部に高く組まれた足場や運び込ま
れる石が現代美術の舞台装置のようだった。

めぐり巡ってこのあたり。霧が多くて湿度が
高い。その中に何かが動いている気配を感じ
て流れの中に身を置いてみる。見覚えがあるけ
れど別のところ、いや同じところだけれども見て
いる角度が違うのか。ここは偶然か必然か私の
故郷である。

その向こうに何があるのか探しに行こう。霧
が深い朝は、よいお天気になる。

contents

a art
ART アート
barcelona
Barcelona バルセロナ
ciutat nova
Ciutat Nova 新しいまち
déu n'hi Dó coise
Déu n'hi Dó coise デウニドッコイセ
escola Massana
Escola Massana エスコーラ・マッサナ
Cine Ferlandina
Cine Ferlandina シネ・フェルランディナ
gokinjyo
ご近所大学
hangar
Hangar アンガール
ichiba
市場 Mercat
japón
Japón 日本
kushimoto
串本
latin america
Latin America 南米
MoMO
MoMO The Museum of Memory,Omi

naranja map
Naranja mapa オレンジマップ
oe
大江
poblenou
Poblenou ポブレノウ
quebec
Quebec ケベック
when in Rome...
r When in Rome, do as a the Romans do
郷に入れば郷に従え
spain
S Spain スペイン
tamarit171
t Tamarit 171 タマリ通り
uchino yumeijin
u ウチの有名人
la vuelta al mundo
v La vuelta al mundo en Madrid.
世界一周マドリード
wilts
W Wilts ウィルツ
yuran shasinkan
y 遊覧写真館
zapatos
Z Zapatos 靴



Artアートという、よくわからないものと一緒に旅が始まった。それは、役立たずなふりをしているけれど、時として言葉の代わりになり、栄養になり、頼れる友達にもなる。

A

art



第二の故郷。20年近く、地中海の気持ちのよい風の吹くまちに暮らした。太陽が明るくて食べ物が美味しくて家族や友達を大事にする。健康である。人生の基本はこれだと思わせるまち。

B

barcelona



バルセロナ旧市街の再開発地で拓本をとった。町から消えていく建物の壁面の凸凹を人の足跡として拓本で採集した。消えていくもので再構成される町の名前を「Ciutat Nova」シウタッ・ノバ 新しいまち、と名付けた。

C

ciutat nova

Art
ア
ー
ト

Barcelona
バル
セ
ロ
ナ

Ciutat Nova
シウ
タ
ッ
・
ノ
バ



「デウニド」 カター
ルニャ語で、すごい
とかびっくりしたと
きに使う。バルセロ
ナの盆踊のダンス
「サルダーナ」を見
ながら、頭の中では
福知山音頭が「ドッ
コイセ、ドッコイセ」
と鳴り響いていた。
その二つの音を入
れ替えたビデオ作
品を作った。

Dèu n'hi Dò coise デウニ・ドッコイセ

D
dèu n'hi dó

バルセロナの中心
部にある、ガウディ
が亡くなった病院跡
が図書館と美術学
校になっている。オ
レンジの木のある中
庭と迷路のような石
造りの建物。そこで
たくさんのことを学
んだ。

Escola Massana エスコーラ・マッサナ

E
escola

移民の多い下町、
フェルランディナ通
りある画廊から見
える光景は映画のよう
だった。行商人の
声、耳慣れない言
葉、古いバーから歌
声。画廊の中から外
が見える仕掛けを
作ったインステー
ション作品。

Cine Ferlandina シネ・フェルランディナ

F
ferlandina

舞鶴のいさざ会館
で始まった「ご近所
大学」という講座シ
リーズで「ご近所芸
術学」というのを
やっている。教える
よりもご近所さんか
ら学ぶことは多い。

ご近所大学

G
gokinjyo

アンガールという
アートセンターで2
年間制作活動をし
た。海辺に近い昔の
工場跡がアートス
ペースになり、ラボ
やAIRで使われてい
る。そこで、いろい
ろな作家に出会い刺
激をもらった。自転
車で海岸沿いの道
を通うおまけ付。

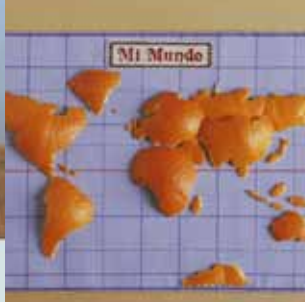
Hangar アンガール

H
hangar

バルセロナの市場
は素晴らしい。店の
人と話しながら、よ
い買い物をして料理
をする。食べること、
食を共にする人や
時間を大切にする。
そこにスペインの底
力を感じる。大阪と
バルセロナの市場
をつないだ展覧会
やワークショップを
行った。

市場 Mercat

I
ichiba



スペイン語でハポン。ヨーロッパの地図には東の端に載っている。古地図には日本の影さえないものもある。日本の外にいる時に気がつく自分の根っこがあるところ。

Japón 日本

J japon

本州最南端には戦前からアメリカ大陸やオーストラリアへ移住した人が多い村がある。水平線を見ると大きな船がいききし、そのむこうへ行けば夢が叶うと海を渡った人々がいた。それをテーマに「田並航路」という作品を作った。

串本

K kushimoto

祖国を遠く離れて暮らす人々がいる。バルセロナ在住の南米のコロンビア人にボゴタの話を聞いて、架空のボゴタ旅行アルバムを作るプロジェクトを行った。題は「ボゴタの思い出～行ったことのない街が懐かしい」。

Latin America 南米

L latin america

MoMA オーマイ思い出博物館。米国ニューヨーク州なのにとてつもない田舎町のオーマイ村で滞在制作をした。何にもないけど先人の思い出の詰まった場で作ったシリーズをミュージアムという枠に入れた。

MoMO The Museum of Memory, Omi

M MoMO

スペインでオレンジばかり食べていたら、こんな世界地図ができた。

Naranja mapa オレンジマップ

N naranja

大江町。由良川や山々のたたずまいがなんともいえず美しい。ここに私の根っこがあると思うことで、いろいろなところへ、遠くまで飛んでいけたのかもしれない。

大江

O oe



旧工場街ポブレノウは、町工場とアトイエが共存し、友達とシェアした時計台のある建物の巨大なスペースは何だって作れそうだった。その後、古い建物は少なくなり観光ホテル乱立地区となる。

Poblenuu ポブレノウ

P

poblenuu

初めてレジデンスで滞在制作をしたのがカナダのケベック州。広大な地で距離感がちがうのに驚く。バルセロナのメイン通りと同じ距離を録画して同じ空間で映してみた。

Québec ケベック

Q

québec

When in Rome ... 香港バージョン。「郷にいれば郷に従え」の意味。香港でのプロジェクトでニセ香港人の仮装で町を歩く。偶然、自分のスタイルを守るインド人男性に遭遇。異なる文化や習慣に適應すること、どこまで適應するかこれが難しい。

When in Rome do as Romans do

R

rome

黒澤明の50年代の映画では、登場人物が皆、生気があって目がキラキラしていた。スペインを初めて旅した時、人が生き生きと見え、そんな映画を思いだした。今から思うと、彫りが深くてこい顔立ちでみんな黒沢の映画の主人公に見えたのかもしれない。

Spain ス페인

S

spain

サン・アントニ市場の前、タマリ通りの古い建物に住んでいた。月～土の常設生鮮食料品市場と週4日は日用衣料、日曜日は古本の出店が出て、夜明け前からガラガラとはじまるで店の設置はワクワクするものがあった。

Tamarit 171 タマリ通り

T

tamarit 171

「うちの有名人」では子供達が「徹子の部屋」の徹子さんの役になって、みじかな大事な人を「有名人」としてインタビューしたり雑誌表紙を作った。「うちのおじいちゃん社交ダンス上が上手」など、多彩な人が続出。

ウチの有名人

U

uchino yumeijin



「世界一周マドリード」写真作品シリーズ。一つのまちで世界のいろいろな場所を想像して歩く。絵葉書のフレームをもってパチリ。電車や飛行機を使わない空想の旅。町には様々な表情がある。

La Vuelta al Mundo en Madrid

V

vuelta

ルクセンブルグとベルギーの国境に近いウィルツという町のアートセンターで毎日、人の場所にまつわる個人的な物語を探して歩いた。そのルートを毎日透明フィルムに落とし込んで地図にした。

Wilts ウィルツ

W

wilts

Sueño Cuinario (夢の調理法)というアートプロジェクトでバスク人のシェフ、チャビと一緒に作品づくりをした。子供が工作材料で作ったご馳走を、実際に食べられる材料で作る。

Xabi チャビ

X

xabi

祖父が昭和の初めに撮った写真のガラス乾板をみつけた。その写真と会話するように写真を撮って古い焼き付け法でプリントして作った「遊覧写真帳」。

遊覧写真帳

Y

yoran shashinchou

サバトス、靴。海外で子供以外はたいてい私よりも背が高い。喧嘩をするときは上から怒鳴る方がぜったい勝つと思う。(スペイン人は喧嘩がうまい)そこで、高さを調節もできる靴を作った。

Zapatos 靴

Z

zapatos

A T S U K O _ A R A I

新井 厚子

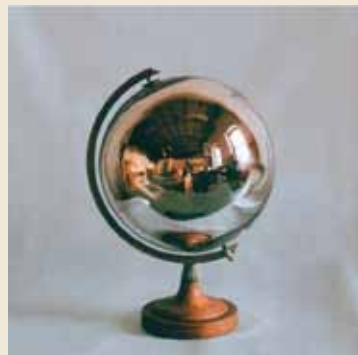
PROFILE

京都府福知山市大江町出身。90年代の変わりゆくスペインに魅せられて渡西、バルセロナを拠点に活動。その後、2015年頃から地元に戻点を移す。さまざまなところで地域の特性や文化習慣から発想をえてアート作品を制作。立体や平面作品写真やビデオなど様々な方法で展示発表。また参加型アートプロジェクト、ワークショップを多く手がけている。

タラゴナ近代美術館、バスク写真美術館（スペイン）などで個展、越後妻有大地の芸術祭、国際芸術センター青森などで滞在制作、展覧会。カタルーニャ文化省、ボティン財団、野村財団などから芸術家助成を受ける。スペイン、ドイツ、フィンランドなど各地でアーティスト・イン・レジデンス参加。

2017年より福知山の美術館で勤務。

(atsukoarai@me.com)



この冊子を作るにあたり、AからZまでにふり分けられる断片を、パッチワークのように組み合わせてみました。ここまでの道のりを少し立ち止まって眺めてみるいい時間となりました。このような機会をいただいたことに心より感謝いたします。

福知山 A to Z シリーズ

「新井厚子 的 A to Z」

発行日 2019年3月30日

文・写真 新井厚子

発行 福知山 A to Z 研究所
(福知山公立大学 塩見直紀研究室内)
〒620-0886 京都府福知山市字堀3370

この冊子は京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金を活用して制作しました。

